

項目		書名	2 東 書
特 色	内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各観察や実験の後には必ずまとめの文があり、簡潔でわかりやすい。</li> <li>単元末に「たしかめよう」があり、学習内容を振り返ることができる。</li> <li>「学びを生かして深めよう」「学びをつなごう」では日常生活や他の事象及び別単元と結びつけて学習内容を整理し、考えることができる。</li> <li>巻末の「理科の調べ方を身に付けよう」では実験・観察器具の扱い方からノートの書き方や施設の活用等について詳細に説明がなされている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思考する場面では「理科のミカタ」があり、考える際のヒントとして実験や観察をする時に働かせる見方・考え方が具体的に示されている。</li> <li>予想や計画などの場面で「レベルアップ理科の力」が設定されていて、意見交換から問題解決の力を育成し、考えを深める構成になっている。</li> <li>キャラクターのセリフで見方・考え方を働かせた思考や表現の例を示すことで同様に児童が自覚的に思考し、深い学びを実現することができる。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元の導入の「レッツスタート」では漫画を使って児童の疑問を明確に示すことで、児童が共感して問題意識を高めて学習することができる。</li> <li>5・6年では単元導入の「学ぶ前の私」と単元末の「学んだ後の私」で同じ問いを設定し、自らの考えの変容を質・量とも高まりが実感できる。</li> <li>「レベルアップ理科の力」では対話を通して自らの考えを広げ深める展開であり、他者と関わりながら問題解決しようとする態度が育成できる。</li> </ul> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「予想しよう」「計画しよう」を設け、根拠を元に予想や仮説をもち、検証可能な方法を考え、見通しをもった実験・観察を行うことができる。</li> <li>「観察・実験」では児童が主体的に観察・実験を行うことができるよう、手順や準備する物がわかりやすく示されている。</li> <li>「計画しよう」では結果の見通しと、実際の観察・実験の結果を比較できるように、表の形式を工夫したり、結果を見通す場面を設定している。</li> </ul> <p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が自らの観察・実験の結果を根拠に考察し、問題を解決できるように「観察・実験」と「結果」は同じ見開きに示さない工夫がされている。</li> <li>「理科のミカタ」で科学的な物の見方が養えるように設定されており、それを確認することで問題を科学的に解決しようとする態度が育つ。</li> </ul>	
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料を含む大きく鮮明な写真で示され、見やすくわかりやすい。</li> <li>インターネットによる動画の紹介で、映像でも確認することができる。</li> </ul>	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>全学年とも本文は敬体で記され、重要な用語には下線が引かれている。</li> <li>予想や計画の吹き出しや実験の流れが対話形式で書かれ、わかりやすい。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書自体がA4の大判で、写真が大きく、細かな部分も見やすい。</li> <li>問題解決の過程を「つかむ」「調べる」「まとめる」の言葉で明確に示し、学習の見通しをもちながら主体的に学びを進めることができる。</li> </ul>		

項目		書名
		新版 たのしい理科 <span style="float: right;">4 大日本</span>
特色	内容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下学年の既習内容を踏まえて学習内容が展開されていて、基礎的知識をふり返って学習を進められる。</li> <li>・ 問題解決の過程を重視して、定義などの説明文を結論文と分けて記載している。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末・巻末に説明を求めるなど文章で表現する設問があり、思考力、判断力、表現力等が一層育成できるようにしている。</li> <li>・ 学年ごとに設定された思考力、判断力、表現力を育成する過程に★をつけて強調してある。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「りかたまてばこ」や「深めよう」など、学んだことを自然や実生活につなげる資料が多くある。</li> </ul> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対話形式で予想、計画が書かれていて、児童の考えにより近い形で作られているので、実験の見通しを持たせやすい。</li> </ul> <p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の導入で問題を見いだす際に着目すべき点を記載し、児童が科学的に考えることができる。</li> <li>・ 実験の際の条件制御について、色分けがされていて、実験によって変える条件、変えない条件の内容がわかりやすく、実験の意図がつかみやすい。</li> </ul>
	資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元の導入に大きな写真があったり、問題提起をしていたりして、見通しを持つことができる。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャラクターが話すような形で書かれていて、読みやすい文章になっている。</li> <li>・ 問題解決の過程ごとに色分けがされている。</li> </ul>
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験の様子が写真で掲載されている。また、ホームページでも器具の使い方を動画で確認することができ、わかりやすい。</li> <li>・ 問題解決の過程ごとに色分けがされていて、流れが理解しやすい。</li> <li>・ 科学的な読み物が多く、学んだことを発展させて学習を深めることができたり、理科の有用性が実感できたりする。</li> </ul>	

書名		11 学 図
項目	みんなと学ぶ 小学校 理科	
特 色	内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元ごとに大事な言葉をオレンジの枠で囲むなど、必要な知識が習得しやすい。</li> <li>・ 単元の終わりに振り返りの活動が設定されていて、学習を見直し、知識の定着を図ることができる。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イメージ図等を使って話し合う場面が設定されている。</li> <li>・ 考え方の視点をいくつか提示し、異なる意見から自分の考えを深めることができる。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元の導入で、どのような活動を行っていくのかなど、考えるべき事柄が明記されていて、活動の見通しをもたせやすい。</li> <li>・ 単元終了後の資料で、学びを生かして活躍している人の話などがあり、単元終了後も学ぼうとする姿勢を維持することができる。</li> </ul> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決の流れが意識できるようにページの左にバーが書かれ、繰り返し学習することで見通しがもてる。</li> <li>・ 導入で単元の中で学ぶ内容が書かれていて、全体の見通しをもって学習に臨める。</li> <li>・ 子供たちの思考をフローチャートのような形で表すなど、考えるヒントとなることが多く取り入れられている。</li> </ul> <p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題から考えられる条件等を複数提示して、そのための活動について話し合い、解決していくことができる。</li> <li>・ 変える条件、変えない条件それぞれの色を変えたり、変える条件をどの程度変えるかも明示されたりして、科学的に考えるヒントとなっている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水溶液の中に溶けている物がある様子を絵で表現していて、状況がつかみやすい。</li> <li>・ 導入の写真が大きく、身近な物が使われていて、学習内容を理解するのに適している。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入などはじめの段階で、大事な言葉が明記されていて、考え方のヒントとなっている。</li> <li>・ 実験などの表記がすべて青で統一されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入の段階でこれから学んでいく事柄を大まかに説明しているので、学習を始める段階で内容をつかみやすい。</li> <li>・ ページの下に問題解決の学習段階が書いてあり、そのページがどの段階なのかがわかりやすい。</li> </ul>	

項目		書名	17 教 出
特色	特 内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末には、各学年で学んだことがシンプルで分かりやすくまとめられ、重要語句などの理解を深められる形になっている。また、巻前には前学年の学習内容がまとめられ既習内容の振り返りや予想の手助けになる。</li> <li>・ 実験器具の手順を①→②のように順序が示されていることや、実験器具ごとにマークがあり、区別しやすい工夫をしておき、分かりやすい構成となっている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物が「願い」や「気づき」をもち、どのように考え、判断していくのか一人の子を中心に表しており、児童への手助けとなっている。</li> <li>・ 考察の場面では、結果でどんなことが起きたのか登場人物の発言をもとに考えられるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「チャレンジ」では、身近な出来事や物を使うことで、興味関心を高めるだけでなく、メッセージを使いながら、専門家の考え方にふれることができる。</li> <li>・ 「広がる科学の世界」では、ミドリムシなど、学んだことと社会とをつなげる内容が入っている。</li> </ul> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下学年での関連する学習を「思い出そう」で取り上げ、事象についての考え方を理解した上で実験に臨むことができる。</li> <li>・ 「予想」「計画」では、様々な観点での物の見方や考え方を例示することにより、見通しをもち観察、実験が行えるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学びを広げよう」を使い、学んだことを身近な事柄にあてはめて学ぶことができるようになっている。</li> </ul>	
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 器具の取り扱い方などが写真や絵で大きく取り上げられ、実験等を行う上で取り組ませやすい。</li> <li>・ 荒川、川の博物館、ようばけ、ムサシトミヨ、秩父夜祭など、埼玉県に関する写真が多く掲載されている。</li> </ul>	
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験などの最後は結論となり、「～と考えられる。」の文末表現となっているものがある。</li> <li>・ 「ステップアップ」「思い出そう」では、前学年から上位学年までの内容が詳しく表記がされている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習事項や発展の内容が分かりやすくまとめられており、基礎基本の定着と発展の内容がバランスよく構成されている。</li> <li>・ 各教科との関連や下学年との系統性が意識された構成となっており、それらを活用して学習に取り組める。</li> </ul>		

書名		61 啓林館
項目	わくわく理科	
特色	特 内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入と単元末に同じ問いかけをしている。</li> <li>・まとめノートの活用で単元の振り返りができる。</li> <li>・「活用しよう」では、児童の身の回りにある題材を取り上げ、考えることで、深い学びへとつなげている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「結果から考えよう」では、考察していく様子が具体的になっている。</li> <li>・結果からわかったことをまとめて表現する場面が多い。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入に「思い出してみよう」として、日常生活や既習事項を掲載し、関連する学習であることを理解させ、関心を持たせることができる。</li> </ul> <p><b>&lt;見通しをもって観察、実験などを行うための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フラッグ&amp;ライン」によって、問題解決からまとめまでの一連の流れが明示されている。</li> <li>・問題とまとめのみフラッグの色を変えて、対応を強調している。</li> </ul> <p><b>&lt;自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のはじめに「考えてみよう」として、これから学習していく内容についての予想をした上で、考える場が設定されていて、より科学的な物の見方で考えることができる。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の資料に「算数のまど」として、理科と関連付けている。</li> <li>・各単元末に「つなげよう」があり、日常生活に得た知識を生かす場として工夫されている。</li> <li>・「理科の広場」では学習したことに関連付けて興味を引くものが掲載されている。</li> </ul>
	表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が手書きのようで太くて見やすく、資料がすっきりしている。</li> <li>・安全配慮のマークが分かりやすく、一目で何に注意すべきかわかる。</li> <li>・QRコンテンツが随所があり、まとめ問題や実験器具の使い方などデジタル化して視覚的に利用できる。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとの「まとめノート」でQRコンテンツがあり、学校や家でも復習が可能になっている。</li> <li>・「つなげよう」では各単元で学習したことを日常生活に生かすことができるようになっている。</li> <li>・「フラッグ&amp;ライン」によって、一連の流れが明示され、問題とまとめが強調されている</li> </ul>	